

# Nara Prefectural University Campus Journal

2017.10 vol.5

## ■ 巻頭エッセイ

# 県立大学に望むこと

元国土交通省事務次官、奈良県立大学客員教授 岩村 敬

## ■ 特集

コモンズゼミ

オープンキャンパス

県大からの留学生紹介

生協学生委員会 の活動紹介



# 宮城大学と奈良県立大学との連携協定調印式



宮城大学との連携協定締結(調印式より)



「奈良県立大学」のロゴマークは、シルクロード経由で伝わったとされる「唐草模様」のイメージで「NARA」の文字をデザインし、奈良の枕詞「青丹よし」の色である青色(緑色)と朱色、冠位十二階の最上位の色である紫色で「最高学府」に相応しい県立大学のロゴを表現しました。

制作者:東京藝術大学名誉教授・奈良県立大学客員教授  
絹谷幸二

## Contents

創造力を育てる教育～知識・対話・経験を重視～

学長 伊藤忠通	1-2
巻頭エッセイ	
一 県立大学に望むこと一	
元国土交通省事務次官、奈良県立大学客員教授 岩村 敬	3-4
観光創造コモンズ	5
都市文化コモンズ	6
コミュニティデザインコモンズ	7
地域経済コモンズ	8
オープンキャンパス	9-10
県大からの留学生紹介	11
生協学生委員会の活動紹介	12
クラブ紹介	13
TOPICS	14

<表紙写真について>  
新デザインのオープンキャンパスバックを持って

### 創造力を育てる教育

～知識・対話・経験を重視～



学長 伊藤忠通

平成24年8月の中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」は、社会が大学に期待する高等教育のあり方を示しています。社会経済構造の変化に対応できる人材、社会の未来を担うことができる人材が求められており、それらの人材を育成する大学への期待は大きいといえます。平成28年3月、中央教育審議会・大学分科会・大学教育部会は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)及び「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)の策定及び運用に関するガイドラインを提示し、各大学が個々の建学の精神や強み・特色等を踏まえて、大学教育の質保証とその向上を目指し、3つのポリシーを適切に策定し、それらに沿った充実した大学教育を自主的・自律的に展開することを求めています。

本学では、平成29年3月に3つのポリシーを策定し、従来の知識修得型の学びだけではなく、対話と経験を重視し、創造力を持つ人材を育てるために、学生と教員がともに切磋琢磨するような学びの場を創ることに取り組んでいます。「学習コモンズ制」は、本学の独自の教育システムです。学ぶことと教えることが分けられるのではなく、教えながら学び、学びながら教えることで、学ぶことの楽しさや意味を理解します。本学のカリキュラム・ポリシーの特色は、リベラルアーツ科目及び専門科目の履修による知識の修得、初年次教育及び2～4年生のコモンズ教育での対話と、フィールドワークでの経験をを通して創造力を養成することにあります。

平成29年度には、新たな教育モデルのパイロットプログラムとして、学生の学びの幅や機会を広げるとともに、教育の質保証とその向上を目的に、宮城大学との連携による、学生の交流、教員の交流、共同カリキュラムの開発等に取り組みます。それぞれに特色や強みを持つ公立大学が連携協力し、その教育資源を相互に活用することで創造力豊かな地域人材の育成を目指します。

## 県立大学に望むこと

元国土交通省事務次官、奈良県立大学客員教授 岩村 敬

宿泊者の数を見ると、奈良県は全国で下から2番目である。東大寺、興福寺から薬師寺、唐招提寺あたりまでなら、近隣から日帰りで参拝できるが、法隆寺も同時となれば少々きつい。さらに、県南の温泉地まで足を延ばすとなれば、2、3日は必要だ。海外からのお客様はもちろんのこと、日本人でも、東京など遠方から来る場合、奈良を満喫するためには、泊りがけとなる。それなのに宿泊客は少ない。そのことを端的に示す数字がある。観光客1人一回当たりの消費額だ。例えば長野県が約1万7000円なのに対し、奈良県は約6400円に止まり、全国でも低い部類に属する。

宿泊客が少ない理由は何か。旅館は数多くあるが、稼働率が極端に低く、ホテルの数が少ないことが先ずあげられる。今、宿泊施設の不足は大都市圏共通の悩みだが、奈良県でも日本旅館の活用など、受け入れ体制の増強が急務だ。

急増する訪日外国人観光客を奈良県に呼び込み、地域の活性化につなげるためには、宿泊施設の充実に加え、観光資源のPRとアクセスの整備が欠かせない。とりわけ、奈良県は観光資源

が県下に点在するため、観光地を巡る公共アクセス（二次交通）の整備とその利便性の向上は急務だ。

訪日外国人に占めるリピーター客は年々増加している。2020年には全体の6割に当たる2400万人になると政府は予想する。リピーターは、個人か家族あるいは小グループの旅行が多い。彼らにとつて、空港に到着しても、迎えるバスは待っていないし、観光地を巡るにしても、電車やバスを使うのが一般的だ。日本人も遠隔地から来るとなれば同じだし、これからは高齢化が進むので、レンタカーに頼るわけにもいかなくなる。

二次交通については、第1に、案内の充実が必要だ。今では、路線、運賃、ダイヤ、乗換などは、スマホなどで簡単に知ることができるが、過疎地での利用となれば、見当がつかないのが現状だ。そもそも、路線の廃止、便数の削減により、観光地巡りの用をなさないことも少なくない。観光立県を標榜するなら、一度利用者の身になった総点検が必要だ。第2に、電車バスの利用に当たつての利便性の向上が課題だ。観光地で電車や路線バスを利用する外国人を多く見かけるようになった。路線によつて

は、大半が外国人で、日本人が身を縮める姿も見かけられる。ところが、バスの料金支払い方法ひとつとっても、各社バラバラで、日本人でも初めて乗る路線では戸惑うことが多い。日本語が分からず、字が読めない外国人にとつては、さらなる難関となり、乗務員とトラブルになるケースも見かける。さらに、電車でも、JRのバスを持った外国人が私鉄への直通電車に乗り、降りた駅でトラブルになることも多い。外国人がJRと私鉄の区別や有効区間が分からないからといって責めるのは酷だ。毎日のように現場で混乱が続いているのに、改善策は遅々として進まない。

JRは胸を張るだろう。早くから全国周遊バスを発売している。しかし、最速で本数も多い「のぞみ号」には乗れないし、JR以外の路線では使えない。外国人観光客の目から見れば欠陥商品でしかない。関西地区では、種々の回遊乗車券が発売されており、一部ものはJR、私鉄の区別なく利用できる。しかし、あまりに種類が多く、選択に迷う。ICカードを使った関西圏周遊乗車券も今年発売された。一歩前進だが、ICカードに対応できない路線では使えないなどまだまだ発展途上だ。

スイスを旅行するたびに感心するのが、「スイスパス」の存在だ。発行条件は外国人がスイス国外で購入することだが、スイス国内の鉄道（座席指定などは別途料金がかかる）、全国で鉄道と接続し、ネットワークの一部を担うポストバス、湖に面する町を結ぶ船、さらには、主要都市のバス、路面電車までもが期間内なら乗り放題だ。一部、フランス、イタリアの区間にも有効だし、博物館、美術館の入場も無料になる。観光地の登山電車、ロープウェイもバスを見れば割引料金で乗ることができ

る。スイスを旅行したことがある人なら気付くことだが、物価は高く、鉄道料金も例外ではない。スイスパスの価格も決して安くはないが、その利便さには代えがたい。バスだけではなく、公共交通機関の利用案内も優れている。全国統一された電車バスの時刻表。連邦鉄道、私鉄の区別のない駅構内の電光掲示を含めた案内。ほかに、も時間に正確な運行など、

外国人旅行者に全くストレスを感じさせない工夫の数々は、観光先進国の面目躍如だ。

県立大学には、観光創造コンメンズがある。広く観光問題を研究し、教育に当たるとは大事だが、おひざ元に特化した研究活動に無関心であってはならないと思う。例えば、外国人観光客受入に対するスイス（その広さは九州程度）と奈良の比較研究など県の観光振興に役立つ研究が進むことを期待したい。その際、私のささやかな知見がお役に立てればと考えている。



### Profile

い わ む ら さん  
岩村 敬

東京大学法学部卒。運輸省（当時）入省後、航空局長、運輸政策局長、国土交通省総合政策局長などを経



て、2004年国土交通省事務次官、2005年退官。その後、（財）港湾近代化促進協議会会長、慶應義塾大学環境情報学部教授、東京大学公共政策大学院特任教授、（株）損害保険ジャパン顧問、関西電力（株）顧問、関西国際空港（株）取締役会長を歴任。現在、（一財）環境優良車普及機構会長、（公財）交通エコロジー・モビリティ財団会長などを兼ねる。



# 観光創造

## コモンズ

- 観光ビジネス・政策
- 景観マネジメント
- アジア・グローバル観光交流



国の登録有形文化財となっている若桜駅



# 都市文化

## コモンズ

- 都市社会史
- メディア・表象
- アート・アミューズメント



都市文化政策提言シンポジウム

### コモンズ活動事例報告

#### 市町村の観光政策を調べる

全国各地の市町村で、観光振興が主要な政策課題になっています。観光創造コモンズの観光ビジネス・政策分野の3年ゼミでは、昨年度、学生それぞれの居住地や出身地の市町村の観光行政と政策を調べ、各自で発表しました。資料入手が大変そうにみえますが、情報アクセスが容易な現代社会なので、インターネットにつながっているパソコンがあれば簡単です。各市町村には長期総合計画があり、観光に絞った長期計画を策定しているところがあります。重要な資料である予算書や住民への広報書類も、ホームページで公開されています。これから、各市町村の総合計画に占める観光の大きさ、観光振興予算の全予算に占める割合、観光の主要政策がわかりました。さらに、地域の観光政策を担うもう一つの組織は観光協会の組織、仕事、収入と支出、市町村との関係を調べました。

#### 鉄道を軸にした観光振興

20世紀後半から、日本の多くのローカル鉄道が廃線になってきました。現在、営業している鉄道の多くが存廃問題に直面しています。人口減少下では、「地元住民がもっと乗って鉄道を残す」という従来の方法に限界があることがわかってきました。それに代わって、「観光客を増やし、観光客に乗ってもらう鉄道を残す」が、ローカル鉄道の経営戦略になりつつあります。これはまた、観光資源としての鉄道の魅力を宣伝し、鉄道だけでなく地域全体の観光需要を拡大するという地域の観光振興戦略と一体となりうるものです。開発から取り残されてきたローカル鉄道は、20世紀の歴史を伝える文化遺産となります。

観光ビジネス政策分野では、昨年度、昨年度に続き今年度もローカル鉄道の観光客誘致策と地元支援の現状を調査しています。昨年度、全国4カ所の鉄道の取り組みを調査しました。鳥取県の若桜鉄道へ出かけて、若桜鉄道、八頭町、若桜町の方にお話しを聞き、鉄道施設やそれ以外の観光施設を見学しました。

奈良県には存廃問題をかかえる鉄道がありませんが、一方で「放っておいても鉄道は残るはず」という地元無関心が気になります。奈良県の鉄道、特にJRの路線は歴史が古く、文化遺産になるような施設があります。鉄道そのものの魅力と鉄道沿線の観光資源を結びつけて、観光客を増やせないでしょうか。今年度は、そのような視点でJR桜井線を取り上げて調査しています。

### コモンズ活動事例報告

#### 都市文化政策提言シンポジウムを開催

2017年3月27日に「大仏鉄道は府県境をどのように越えたか」を開催しました。本シンポジウムは、奈良市が観光客誘致に向けた取り組みの一環として実施した「幻の大仏鉄道遺構めぐりマップ」の制作過程とその効果を検証することが目的でした。同マップは古代のイメージが強い奈良において、明治期の遺構・遺産に焦点をあてる試みで、地域における歴史的資源の活用の新たな試みといえますが、地域資源の大仏鉄道を長年研究している市民グループ「大仏鉄道研究会」等の民間団体や奈良市・木津川市などの行政組織が加わることで実現しました。本シンポジウムでは、同マップの制作過程をおして地域資源の再活用における様々な可能性を検討し、今後の都市政策に必要な知恵(視点)を学生・教員の立場から検討しました。

第1部ではまず、マップの制作過程を調査した学生が、府県境をまたいで実現した行政の連携の実態とその効果について報告しました。鶴谷講師からは、複数の行政と民間団体の連携にも「公共性」が求められるようになるとの報告がありました。その後、西尾講師と学生が、大仏鉄道の車輪をデザインするワークショップを事例に、地域に眠る歴史資源を観光資源へと変えていくためには、アートが有効な手段のひとつとなること、想像力を駆使することが観光資源の再発見につながることを報告しました。

第2部のパネルディスカッションでは、実際に制作にかかった行政、民間団体の担当者、制作過程の実態や思いについて語ってもらいました。奈良市観光振興課の上野氏と堀田氏は、マップ制作でこだわった点はストーリー性やデザインだったとの報告がありました。一方、大仏鉄道研究会の高橋氏からは、奈良市・木津川市に共通する歴史文化的背景がマップ制作につながったことを評価するとともに、マップの完成によって当初はローカルな認識にとどまっていた大仏鉄道がメジャーなものになったとの指摘がありました。木津川市観光商工課の西谷氏は、マップ制作の意義として、実際に走っていたという事実を観光資源とすることができた点をあげるとともに、大仏鉄道研究会をはじめとする関係者すべてが納得できるような形にできたことを評価しているとのことでした。

当日は、平日にも関わらず来場者が170人にもぼり、一般市民の「大仏鉄道」への関心の高さがうかがえました。協力をお願いしたアンケートでも、行政担当者の生の声を聞けたことや学生の視点からの発表に好意的な意見が数多く寄せられました。大仏鉄道という地域の身近な資源を素材に大学生が研究をおこない、異なる分野の研究者が分析し、実務に携わった行政職員、民間団体の当事者がそろって登壇することで、社会還元ができたと考えています。



### 学びのOneシーン



若桜駅の歴史遺産の見学

奈良市の観光振興を考えるワークショップ

スリランカ在住の青年海外協力隊員との交流会

日本庭園(京都市無鄰菴)で指定管理者さんの思想に触れる



### 学びのOneシーン



学生発表

西尾講師による発表

学生発表

シンポジウムのチラシ



かしば産業展での地域ブランド認定品の紹介



## 地域経済 コモンズ

- 地域経済
- 地域産業
- 流通・マーケティング



地域の方たちに向けた研究報告会



## コミュニティデザイン コモンズ

- コミュニティ政策
- 持続可能なコミュニティ
- 共生・協働のまちづくり

### コモンズ活動事例報告

地域に密着した共同研究の実践…

2016年度「コモンズゼミII」(ブレ卒論ゼミ)

コミュニティデザインコモンズでは、2年次のコモンズゼミとして、調査基礎演習と4種類の文献購読・地域演習を、3年次のコモンズゼミIIでは、教員ごとの8つのブレ卒論ゼミに分かれた対話型少人数教育を実施しています。

2016年度の3年次の佐藤ブレ卒論ゼミでは、ゼミ生全員による共同研究「郊外住宅地における多世代交流に資する居場所形成に向けた研究」を実施しました。

まず、ゼミでは、研究の背景となる地区の特徴や課題を資料や現地調査から明らかにするとともに、多世代交流や居場所づくり等、コミュニティの活性化に関わる文献や資料を分担して読み、発表していきまし。同時に、自治連合会や公民館等、地域の方へのヒアリング調査をもとに研究テーマを深めたり、奈良市市民活動部や先進事例(UR男山団地)を訪れて行政の取組みや大学生による地域活動事例等、多方面からコミュニティづくりの考え方を学んだりしました。

研究対象となった奈良市鳥見地区は50年前前に開発された住宅地で、奈良学園前に続くベッドタウンとして発展してきた地区です。研究では進展しつつある少子高齢化等に対し、次世代を担う子どもたちが地域に愛着を持ち、住み続けたいと思えるような持続可能なまちづくりを鳥見地区の課題として捉え、子どもたちの放課後の生活や地区に対する意識を把握し、今後の課題を明らかにしていくことをめざしました。その環として、子どもから大人・高齢者等の多世代がふれあえるイベントを合計8回、企画・実践し、その効果や課題を来場者への調査で明らかにしました。これらのイベントは、地域の居場所づくりをめざしたコミュニティスペース「まんま」での「いしばしプロジェクト」(奈良市社会福祉協議会のひとつとして共催により実施した他、地域の方々が運営する小学校放課後子ども教室やURによる富雄団地でのイベント等での協働により実施したものです。

この間、ゼミでは、イベント時の調査結果をもとにディスカッションを重ね、約70ページに及ぶ調査研究論文を完成させました。2017年2月には、4年生の卒業論文もあわせ、お世話になった地域の方たちに向け、研究報告会を開催しました。

こうした共同研究を通じて、学生たちは、他者の考えに触れ、新たな問題意識を醸成し、自らの卒業論文のテーマの検討につなげていきます。同時に、地域の方たちとの協働や交流の体験も、学生にとって大きな力になっていくものと思われま。

### コモンズ活動事例報告

香芝市と奈良県立大学

香芝市は奈良県内では珍しく人口が増加している都市であるが、今後の発展のためには市民が誇りを持って香芝市を紹介できる「何か」を持つことが必要となっている。香芝市にも歴史・文化的資源はあるものの、法隆寺や当麻寺などの高い知名度を持つ地域資源があるわけではない。香芝市商工会では、新たな香芝市のイメージを促し、住民が誇りを持って関西さらには全国に発信していくブランドになることを目指すべく、地域ブランド「KASHIBA+」(カシバプラス)認定制度を立ち上げた。

奈良県立大学は平成27年に香芝市と包括連携協定を結んで、既に観光基本調査に着手していた。今回の活動は、産官学連携を促進させる一環として香芝市商工振興課の支援を受け、香芝市商工会が実践的教育・学習の場「フィールドワーク活動先」を提供し、地域経済コモンズ所属の学生が地域ブランド基本調査と広報活動の支援を担うことになった。

### 香芝市での調査内容

調査に先立ってランチミーティングを行い、地域ブランドについての基礎知識を確認した。地域ブランドの推進には地域のイメージを把握することが不可欠であり、市域を現地踏査することから始めた。市内の南西部を皮切りに、中部を経て次第に北西部、北東部へと展開し、4回の現地踏査を行った。我々が現地調査で確認できたことは、豊かな自然に囲まれていること、伝統との調和が図られていることであった。市の西側には金剛生駒紀泉国定公園が広がり、森林がみられる。古い町割りや色濃く残す地域がある一方で、新しく宅地造成されたところは古墳跡を都市公園として整備している。のどかな風景や緑地の点在は、都時期に行った地域住民への香芝イメージアンケート調査の結果とも一致していた。

「KASHIBA+」の認定数は11になり、食品・工業品だけでなく無形資産も対象となっており、ほとんどの認定証受領者に取材を行った。取材は、認定後の抱負から始まり、製品については開発や製法のこだわり、無形資産については活動の経緯や背景に及んだ。認定品が多岐にわたるので、認定された人々の今後の展望も多様であった。

### 取組みのまとめ

広報活動としては、かしば産業展での地域ブランド紹介ブースの運営補助と、西名阪自動車道「香芝サービスエリア」での認定品販促会の支援があげられる。二連の活動をつうじて、緑の多さやのどかさ、文化や伝統の保存が実感され、人々が抱く地域イメージと「香芝」という言葉には調和がみられた。とはいえ、これらは多くの地域にも共通することであり、地域ブランドの構築に必要な独自性や「香芝らしさ」を同定するまでには至らなかった。

### 学びのOneシーン



小学校放課後子ども教室でのかるたづくり



若草山でのエクスカーション



2年生の調査基礎演習の様子



フィリピン・オロンガボ市でのフィールドワークの様子

### 学びのOneシーン



イメージ調査(文化財)



かしば香るみその仕込みの取材



イメージ調査(街並み)



香芝SAでの販促会

# Open Campus 2017

奈良県立大学

平成29年 8月5日(土) 9:30~15:00

季夏の候、奈良県立大学オープンキャンパスを行いました。学生が主体となって多くの企画を行っており、大学や学生生活のことなどを知っていただく機会となれたと思います。厳しい暑さのなか329組もの方々にご来校いただき、誠にありがとうございました。



総合受付



今年のオープンキャンパスの学生企画は、大学の特色に合わせたものを準備しており、それぞれの企画に学生の想いが込められています。大学の雰囲気を知ってもらうのはもちろん、コンモズや受験などに関する相談なども積極的にを行い、来てくれた高校生や親御さんのさまざまな不安が少しでも解消され、スッキリした気持ちで受験に臨めるようなオープンキャンパスを目指します。

実行委員長 3年生 西元里佳子



コンモズブース

コンモズブースとは、4つのコンモズについて教員や学生から直接に話を聞くことができる場所です!コンモズってなに?どんなことが学べるの?など、どんな質問にも丁寧に答えします。普段、直接には聞けない教員や学生の生の声を聞いて、奈良県立大学での大学生活を少しでも身近に感じてもらえたら嬉しいです。そして、コンモズで学べることを知ること、受験勉強のモチベーションにつなげてもらえたら嬉しいです!



キャンパスツアー

キャンパスツアーは、県大生がオープンキャンパスに来てくれた高校生や保護者の方にツアー形式で構内を紹介します。授業で一番多く使われる1号館、学生が1番多く集まる食堂、レポートや論文を作成する際に必ず利用する図書館、そして一番新しくできた地域交流棟など、様々な施設を紹介します!普段利用している学生が案内、説明するからこそ知ることができる県大施設の魅力もきっとあるはず!キャンパスツアーを通じて奈良県立大学の魅力をオープンキャンパスに来てくれた方たちに知ってもらえたらいいと思います。



教員によるコンモズ相談



English cafe



スライドショー

スライドショーは主に学生の大学生活の写真を中心に作りました。入学後には分からない県大生の大学生活。先輩たちの様子を通して、受験生の皆さんに「来年はこうなっているのかな。」と、未来の自分を想像してワクワクしてもらいたいです!県大ならではのアットホームな雰囲気をスライドショーから感じてもらえたら嬉しいです。過去問閲覧場所で流しますので、閲覧の待ち時間も有効に使ってもらいたいと考えています!

桃本



桃本とは、現1年生にセンター試験や本学での2次試験、推薦入試についての勉強方法や体験談などをアンケート、それを掲載した「受験の時に役に立つ情報」が満載の冊子です。奈良県立大学には赤本がなく、受験生にとっては受験情報を得るのが難しい状況と考え桃本を制作しました。また、桃本は先輩からの応援メッセージも掲載しているのでモチベーションアップにも繋がる冊子となっています。



ぐるっと船橋ツアー



ランチメニュー

駅案内



JR奈良駅、近鉄奈良駅から大学までの道を案内します。初めて奈良県立大学に来られる保護者や高校生の皆さんに、学校まで迷わずスムーズに来ていただけるよう「自分たちで制作したマップ」を持って、一人一人に、「分かりやすく丁寧に」を心がけた対応を目指します。気軽に声をかけていただき、スムーズに学校へ向かっていただけるよう頑張ります!!



全体説明会



模擬講義

フリートーク



フリートークブースでは、資料や大学案内などには載っていない「現役県大生の生の声」をお届けします!受験や、コンモズ制度、合格してからの大学生活、下宿のことなど気になることが多いと思いますので、受験生の悩みに県大生が丁寧に答えます!堅い話だけでなく、ささいなことでも気軽に聞けます。先輩たちと話せるので受験勉強へのモチベーションを高めた方がいいですよ!

小冊子



1日しかないオープンキャンパス!無駄にせず楽しんでほしい!小さい大学だけどオープンキャンパスの内容は盛りだくさんです!小冊子には、オープンキャンパスの詳しい時間割や、私たち実行委員が考えた各企画の紹介を載せています!効率的に、また有意義に県大のオープンキャンパスを楽しんでもらえるよう、開いて持ち歩きやすい小さな冊子で県大のオープンキャンパスを紹介します!

メッセージ



オープンキャンパスのときに感じた「この大学に受かりたい!」と強く思った気持ち。それを入試の時の自分への励みにしてほしい。そして、親からの応援を感じてほしい。そんな思いから、オープンキャンパスに来た受験生やその親御さんにメッセージを書いてもらいます。メッセージ用紙は桜の花びらをかたどり、メッセージが集まったら、桜が咲くようなデザインになっています!そして、そのメッセージは推薦、前期、中期とすべての受験の日には貼ります。入試当日にそれを見た受験生の「がんばろう」という思いに繋がればと考えています!



## 生協学生委員会の活動紹介

生協学生委員会は、県大生のより良い学生生活のために日々活動しています！活動内容は、ウェルカムパーティーの開催を始めとする新学期活動や、食生活相談会など日々の学生生活向上を目指した活動、生協店舗のサービス向上に携わる活動など多岐に渡ります。また、サマーパーティーやウィンターパーティーなどの企画・運営も手掛けています。毎週火曜日の部会では、真面目に考えるときは真面目に、力を抜くところは楽しく活動しておりメリハリのある委員会です。組合員の大学生生活の充実を目指し、男女仲良く活動しています！



生協学生委員会のマスコット：ジョーくん

### 店舗部門

#### 『学生棚』のご紹介

学生棚とは購買の棚の一部をもらい、学生目線で組合員のニーズに合うものを提供できるようプロデュースする店舗の企画です。各月ごとに店舗部門から1人ずつ担当者を決めて企画・運営しています。年に行った「お正月フェア」や、4月に入ってから新しくできた友達と分け合えるお菓子をたくさん並べた「シェアフェア」など、季節や行事に応じたもののほか、組合員から、こういった商品を多く置いて欲しい、という希望から「チョコレートフェア」を実施、フェア内容の意見を収集し、より組合員の声を反映した学生棚を作ることが出来ました。組合員の要望をカタチにするため、1人が自分の企画に責任とやりがいを持って活動し、毎月多彩な学生棚のカタチが生まれています。今後も職員さん、パートさんと協力しながら組合員の声が食堂や購買に反映され、組合員が運営に携わっていると実感できるような活動をしていきます！



### 学生生活部門

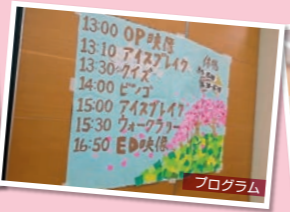
#### 機関誌『凧』のご紹介

学生生活部門が原稿から製本までを行う生協の機関誌『凧』。学生委員の活動の告知をはじめ、春夏秋冬の季節ごとの情報や、学校の使い方など、組合員の生活がより良くなる情報を届けたいという想いから作っています。例えば、番号は新入生特別号とし、履修の組み方や奈良のテートスポーツなど、新入生のみならずがまだ知らない学校や奈良の情報をお届けしました！発行したらまたお知らせするので手に取って見て下さい。こんな情報がほしいというご要望はお近くの学生委員まで。



### 新学期部署

#### 『ウェルカムパーティー』のご紹介



WELCOME PARTY 通称ウェルパは、毎年新入生のほとんどが参加する生協学生委員が行うビッグイベントの一つです！準備にじっくり時間をかけ、新入生に不安を吹き飛ばし、全員に楽しんでもらえるようなウェルパになるよう、新学期部門のメンバーを中心に学生委員全体で取り組みます。ただ楽しいだけの友達つくりの場では終わらないように、ウォークラリーをしながら大学を案内したり、学生生活に役立つ情報をクイズにしたり、さまざまな工夫をしています！会場の装飾や音響まで全て学生委員が行うので、すごく大変ですが、新入生がウェルパで仲良くなった友達と笑顔で帰っていくのを見ると、頑張った甲斐があったなあ、すごく嬉しくなります！これからもみんなに楽しんでもらえるようなウェルパをつくれるよう頑張ります！



委員長 堀部 七彩さん

## 県大からの留学生紹介 奈良から拓く、世界のトビラ！



トビタテ！全国集会

留学を希望する学生を支援する制度に、「トビタテ！留学JAPAN」があります。

留学するうえで必要となる費用面、その多くの部分を返済不要な奨学金制度で賄うことが可能となります（※制度には種々のコースなどがあります）。平成29年度、奈良県立大学生より3名がトビタテ留学JAPANの「官民協働海外留学支援制度」地域人材コース「奈良を『開く』人材」グローバル人材育成プロジェクト」に選ばれました。この制度は地域の産学官が主体となつて留学生を支援するものであります。現在、「トビタテ！留学JAPAN」により留学中の3名に、事前にお話を伺いましたので紹介します。



奈良市での仕行会

### イギリス・カンタベリー



2年 山下 瑞貴さん

私は2017年9月から半年間、イギリスのアダルトエデュケーションセンターに留学し「生涯学習」について学んできます。生涯学習とは、人が生涯にわたり常に学び続けることです。

2040年、奈良市の年代別人口は3人に1人が65歳以上になると予想されています。訪れる超高齢化の時代で生きがいを持って人が暮らしていくためには、生涯学習は欠かせないものなのではないかと考えました。私の留学テーマは「奈良を生涯学習のモデル都市にすること」です。働く人が、仕事と余暇を両立し充実できるような環境、高齢者や小さい子供を持つお母さんが自らの学びたいことを学び、やりたいことを実現できるような社会、そのような仕組みがイギリスには整っています。また、現地では手話などの講座も受講する予定です。

1人で海外へ出ることには不安もありますが、イギリスの柔軟な生涯学習の仕組みを体感することが楽しみです。「その経験が、未来への自信になる。」

### 中国・北京



2年 松村 綾乃さん

私は2017年6月から半年間、中国の北京に留学します。トビタテで応募しようと思ったきっかけは単純に留学費用を支援していただけるという制度に魅力を感じたからです。でも今は、事前研修や、同じトビタテで留学する全国の同士とのコミュニケーションを通して、通常では経験できない様々な機会を頂ける本当に魅力的なプログラムで、トビタテでしか得られない価値があると感じています。

私は中国で観光を学ぶと同時に、奈良の魅力を発信し、より多くの外国人観光客を誘致する予定です。

今はすごく忙しく県大の友達と会えないのが寂しいですが、行ったら今度は帰りたくなるぐらいの気持ちで頑張りたいです！



### カナダ・ブリティッシュコロンビア州



4年 長山真沙子さん

私は2017年9月から4ヶ月、カナダのビクトリア大学へ留学し、「代替医療」について学ぶ予定です。代替医療とは、簡単に言えば効果は認められているがその証明が難しい、昔からある治療法です。留学へのきっかけは、うつ病治療の選択肢に、代替医療を活用できないかと思ったからです。カナダでは、東洋医学・西洋医学に並び、代替医療は第三の医療として重要視されています。私の夢は代替医療が、うつ病や不眠、不妊に悩む方々の治療として受けられるようになり、一人でも多くの処方薬依存症の患者さん達の新たなスタートをサポートすることです。

今はまだ準備の段階ではありますが、私自身、この留学をきっかけに、また新しいスタートを切りたいと思います。



5月27日(土)、教職員と学生との

交流ソフトボール

ております。



地域貢献事業として実施しています。シニアアカレレッジも、今年度4年目を迎えました。年々受講生が増え、習いのモデルとなつ

シニアカレッジ



1・2号館の耐震工事了

昨年度末、1・2号館の耐震工事が完了しました。半年間の期間を要し、学生や関係者各位にはご不便をおかけしました。

じた学生イベントなどを通じて交流が深まっています。



サマーフェスティバル

7月18日

(火)、生協学生委員会主催のサマーフェスティバルが開催されました。夏期休業前の、熱くハ



東アジア・サマースクール

8月17~29日の全13日間で「東アジア・サマースクール」を実施しました。東アジア各国から全57名が受講し、本学からも5名の学生が受講しました。



交流ソフトボールが行われました。青空の下、小さな大学ならではの交流ができた。今後のような場が実現できればと思います。

ソフトテニス同好会



こんにちは！ソフトテニス同好会です！男子9名、女子12名の計21名で、毎週水曜日の18時~20時、大学の体育館にて練習しています。また、月に一度は外部のコートを借りての活動もしています。  
私たちのモットーは「楽しいテニスです！」。自分たちで練習を考え、楽しく、自由なテニスを心がけています。経験者、未経験者問わず「テニスをしたい！」という気持ちがなければ皆大切なメンバー。練習後には皆でご飯を食べに行ったり、休みの日には遊びにいたり、テニス以外にも、皆でワイワイできるのも楽しみの一つです(笑)  
「勝ち負けにこだわらずテニスを楽しみたい」「何か新しいことをしたい！」という方は是非是非、水曜日18時に体育館にお立ち寄りください(笑)

教育研究支援基金

ご寄附のお願い

目的

施設及び設備等の整備並びに学生支援等のための事業を実施することにより、大学教育研究の質の向上を図り、優れた人材の養成を図るため、「公立大学法人奈良県立大学教育研究支援基金」を設置しました。

ご寄附の顕彰等

◆基金使途はホームページで公表します。  
◆基金のためにご提供いただいた個人情報、寄附金収受事務及び寄附募集に関する業務のみに使用します。



寄附の申込み・お問い合わせは 奈良県立大学事務局総務課総務係 (基金担当) TEL: 0742-22-4978 FAX: 0742-22-4991

卓球部



卓球部の練習頻度は週3回。毎回絶対参加しなきゃダメ！なんてことは全くなく、来れる人が気まぐれに集まって真面目に練習したり、時々ふざけたりしている、そんなゆるさを持った部活です。卓球を楽しむ部員は学年を越えて仲が良く、唐突にカラオケ会が開かれることもあります。今の悩みは男子部員の少なさ。せつなく実力のある男子部員がいるのに人数があまりにも少なく、今年は団体戦に出れるかどうか危ぶまれるのか？  
卓球の実力を鍛えることも大切ですが、何より、卓球を楽しむことを重視した初心者でも参加しやすい雰囲気、今後も大切にしていきます。

教育研究支援基金 芳名録

公立大学法人奈良県立大学教育研究支援基金へ、多くのみなさまからご賛同いただき、ご寄付をご頂戴いたしております。ここに芳名を掲げ深く感謝の意を表します。 公立大学法人奈良県立大学理事長 北岡伸一

(公表に同意いただいた方のみ掲載しております。)

大内池	森村福小	中高岡	稲麻	松谷	紀林	東久伊	岡	有	限	公	司	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
塚田川	本井永	西村	山島山	垣	三〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
良珠	照裕	佳	由	治	子	徳	俊	茂	司	明	宏	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
和里	徹	美	司	康	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
(伊藤忠通教授研究費)	松本忠之様	(新納克廣教授研究費)	松島愛奈様	(中谷哲弥教授研究費)	桐原正一様	内山三〇〇〇〇円	守山三〇〇〇〇円	永井三〇〇〇〇円	寺田三〇〇〇〇円	水田三〇〇〇〇円	田中三〇〇〇〇円	佐藤三〇〇〇〇円	河上三〇〇〇〇円	池田三〇〇〇〇円	宮前三〇〇〇〇円	中川三〇〇〇〇円	土井三〇〇〇〇円	竹内三〇〇〇〇円	高代三〇〇〇〇円
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様



Go to the SHUKA !!

華ある宴が今ここに

52 (ごっつ) ええ感じ~ !!

11/5 (日)

第52回秋華祭、来場するすべての人を楽しませます。



公立大学法人  
奈良県立大学

発行日：2017年10月1日  
発行：公立大学法人 奈良県立大学  
〒630-8258 奈良市船橋町10番地  
TEL：0742-22-4978 FAX：0742-22-4991

# 働く ナラ・プロジェクト

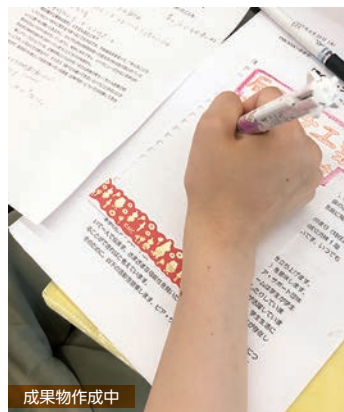
COC/COC+推進室では、学生同士でキャリアについて考える「ピア・キャリア・サポート」のシステム構築を進めています。平成29年度は、学生たちが主に奈良で働く社会人にスポットを当て、奈良で働くこと・暮らすことについてインタビュー調査をする「働くナラ・プロジェクト」を開始。5月にはイベントとして、橿原市にある辰巳電子工業(株)を訪問し、社内見学や社員の方々との座談会の機会を設けていただきました。今後も、学生自らが企業訪問し、その内容を成果物にまとめて、学内に広報していく予定です。現在、メンバー7名で活動中で、月2回ほど実施している定例会議では、プロジェクトの方向性や、奈良で働くこと・暮らすことについてディスカッションを行っています。奈良の社会人のライフスタイルに焦点を当てた「働くナラ・プロジェクト」の今後の活動内容にぜひ注目してください。



辰巳電子工業見学ツアー



辰巳電子工業見学ツアー



成果物作成中

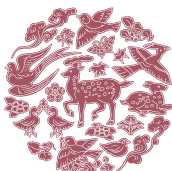


定例会議

## ホームページリニューアル

大学ホームページをリニューアルしました。デザインを一新したほか、英・中・韓の翻訳機能なども追加しました。今後も充実した、また迅速な情報発信に努めていきます。

奈良県立大学 <https://www.narapu.ac.jp/>



国文祭  
障文祭  
なら2017

9.1 FRI → 11.30 THU

県内全39市町村で  
103事業を開催!

### 総合フェスティバル

《オープニング》  
世界遺産「東大寺大仏殿」で華やかに開会式  
9月2日 会場：東大寺大仏殿前  
《フィナーレ》  
大和のまつり 11月25日 会場：五條市上野公園総合体育館  
閉会式 11月26日 会場：奈良県文化会館



### 国際交流事業

「NARA・国際交流フェスティバル」など、音楽等による交流で多様な日本文化を発信

やまとし  
うるはし  
おもしろし



原画「芸術の女神」 絹谷幸二(洋画家)

### 障害者交流事業

「体感する奈良!」心・感覚展」など、障害のある人もない人もともに楽しめるイベントを実施

### シンポジウム事業

「フォーラム・NARA」など、様々なテーマでシンポジウムを開催

### 分野別フェスティバル

伝統文化・歴史文化・音楽・美術・演劇など、奈良県内全39市町村で多彩な事業を展開

第32回国民文化祭・なら2017  
第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会

全国初の一体開催! 奈良から新たな文化を発信

観光・宿泊のご相談はトラベルセンターへ TEL.0742-23-4891(平日10:00~18:00)

<http://nara-kokushoubun.jp/>

国文祭 なら 検索

Twitter Facebook Instagram YouTube

奈良県